

豊田征夫氏が町長に就任

4月22日、任期満了に伴い行われた芳賀町長選挙で、豊田征夫氏が初当選しました。5月18日には多くの町民や役場職員に迎えられ初登庁した豊田氏。「開かれた町政」を行政経営の基本とする新しい芳賀町政がスタートを切りました。



開かれた町政で 対話と協調による まちづくり

5月18日、豊田征夫氏が第7代芳賀町長に就任し、新しい町政が本格的にスタートしました。初登庁後、職員を前に就任のあいさつを行い、「町長の職責の重さ、また町民の皆さまからの期待の大きさに身の引きしまる思い。皆さまの期待と信頼に応えるため、最大限の努力をする」と、これからの決意を緊張した表情で述べました。豊田町長はこれからの行政経営の基本理念に「開かれた町政で対話と協調によるまちづくり」を掲げています。

「良いことよりも悪いことや耳に痛いことをすすんで聴き、町民との信頼関係のもとに身近で開かれた町政運営をめざしたい。私心を捨て、政治の原点である公正・公平を心がけ、芳賀町の経営に尽力します」と語りました。

豊田町政の重点政策

行財政改革

事務事業は最小の経費で最大の効果をあげるため「行政評価」の導入を行い、目的・対象・必要性・手法などについて検証し、政策の水準を高めていきます。また、その結果を情報公開します。

役場の改革

- 町民の声を町政に反映する施策を推進します。
- 役場の一部窓口業務を午前7時30分〜午後7時に延長
- 組織機構の見直しを行い、町民主役の町政を推進
- 職員の能力が発揮できる環境づくり
- 町長の給与を10%削減

総合情報館の機能と維持管理の見直し

現在の図書館・博物館・文書館の機能を見直します。図書館機能は必要と認めますが、博物館・文書館は旧与能小学校の郷土資料館を利用します。早急に検討委員会を設置し、施設の見直しを行います。

入札制度の改革

○ 指名競争入札制度を見直し、一般競争入札や総合評価落札方式などの導入を検討します。しごらみや談合などによる利権の排除と透明性を確保する仕組みをつくりまします。また、落札率の常時チェックを行います。

福祉・高齢者対策

- 高齢者が健康で安心して暮らせるまちづくりを推進します。
- ふれあいタクシー「ひばり」の充実
- 生きがいサロンに簡単な筋力トレーニングのできる器具を整備し、運動による介護予防の実施
- 旧小学校を利用し、高齢者の交流の場づくり
- バリアフリーのまちづくりの推進

少子化・子育て

子どもを安心して産み、働

農業の振興

- 農業経営に意欲のある後継者と認定農業者の育成
- 認定農業者が、他産業従事者並みの所得と年間労働時間の確保ができるような政策を検討します。
- 水田農業等土地利用型は、効率的かつ安定的な農業経営の確立のため、農業基盤整備を行い、生産性の向上を図るとともに農用地の利用集積ができるよう支援
- JAとの連携
- 米、梨、イチゴ、トマトなどの特産品に付加価値を付けることと産地化の推進を支援します。
- 国・県の補助がなくなった事業を町が支援

きながら育てられるよう支援します。

- 妊産婦の検診などに要する費用の助成
- 不妊治療の助成（保険適用外）も検討
- 子育て支援、学童保育や保育園の充実

教育の振興

- 近年、低迷している地元購買率を上げるため、商工会などと連携を図り、経営相談や研修会を行うとともに若手経営者や青年部活動の支援を行います。
- 芳賀工業団地内の活性化工業団地内の未利用地に優良企業を誘致
- 中小企業向けの運営資金や設備資金を低利で融資

子どもたちに確かな学力を身につけさせるとともに、社会で生きていくための力を育てます。

- 教師と協力し、子どもたちの学力を伸ばす方法を研究
- 学校の教育現場でのいじめや不登校に積極的に関与
- 家庭や学校、そして社会のさまざまな場所で、大人と子どもをつなぐパイプの強化

また、生涯学習においては、すべての町民の学習意欲や各種活動への参加を高めるため、各種講座・学級を開催し、生涯にわたり、いつでも自主的に学べるシステムづくりの支援を行います。

豊田征夫町長



プロフィール◆とよだゆくお
1944年芳賀町生まれ。真岡高卒。63年に芳賀町職員となり、学校教育、農政、商工、社会教育課長、総務課長、議会事務局局長を歴任。06年12月まで町商工会事務局局長。妻、三男と3人暮らし。趣味はゴルフ・将棋。下延生在住、62歳